

フタスタルな

仏教の未来に
挑戦する情報誌!!

僧侶たちのフタスタル



特集

「歌」は自分と向き合う道

マンガ お坊さん日和。:第11話「たからのやま」

しりとり法話バトル:第5回「留守」

12・1月の仏教イベント情報

32

私は、僧侶であり歌い手であり、自坊での檀務の傍ら、「キッサコ」というボーカルグループのメンバーとして、様々な所で歌わせていただいております。「なぜ僧侶なのに、歌を歌っているのか?」「歌う必要があるのか?」

おそらく、そう突っ込みたくなるはずですが。自分自身もそのことについては自問自答の日々ですが、では、少しばかりこうなった経緯について、つらつらと書かせていただきます。

まず、音楽を始めたきっかけなんて、ほとんどの人がそうかなと思うのですが、中学生の頃、友人と私は「モテたい!」という全くもって雑念ではないような願望から、音楽道をスタートさせました(笑)。

そしてもうひとつ、のめり込んで行く大きな理由となるのは、お寺を継ぐ、つまり僧侶になるという、生まれながらの運命となかなか向き合うことができない……反動からでもありました。高校まで愛媛で過ごし、大学進学のため京都へ行き(宗門の大学には進学せず、一般大学を選び)ロックからR&B、ソウルまで様々な音楽に触れ、その



特集

「歌」は自分と向き合う道

32

文:薬師寺寛邦(キッサコ)
text:Kanho Yakushiji

頃から、歌うこと、そして歌を作ることの楽しさを知り、いつしか、音楽というものが自分の人生の中でなくてはならないものになっていきました。

そんな頃、当時通っていたボーカルスクールの中でメンバーと出会い、「キッサコ」を結成しました。ここからが不思議なご縁のはじまりです。お寺を継ぐことへの反動から始めた歌が、「お寺」という、生まれながらの運命の場所へ引き寄せられていったのです。

まず、バンド名を決める時に、ほんの軽い気持ちで、「禅語でいい響きの言葉ない？」と母に聞き、送られて来たFAXの中に、キッサコ（喫茶去）とあったので、「それいいね」とあっさり決定。その後、たまたまメンバーの友人がとあるお寺の息子さんで、お寺に遊びに行かせてもらったら、座敷の掛け軸が、「喫茶去」という、これまた、不思議な偶然が重なり、そしてその時、その友人に「お寺でアート&ライブイベントを今度やるんだけど、出演しないか？」と誘われたのでございます。お寺で生まれた私にとって、まさかお寺でライブだなんて考えたこと

歌うことと、僧侶の行いに共通するもの。 それは「思い出す」ということです

もありませんでしたので、それは目から鱗な出来事でございます。しかも、そのライブがキッサコとして初めてのライブとなったのです。

ライブ当日。京都の若手アーティストの展示会もありながら、ライブは庭にステージを組んで演奏、そして客席は座敷に座布団を並べて聴いていただくスタイルで、歌っている側も聴いている側も、ライブハウスとは違うお寺が本来持つ荘厳な空間の中に、独特な木の温かみが、アコースティックなサウンドと調和して、心の中に染み渡っていくようなライブとなりました。ご来場いただいた方々からも、「お寺がいつになく、幻想的な空間に感じた」「今まで堅苦しく

感じたお寺のイメージが変わった」という声をいただき、それからというものの、「お寺」を普段のライブでは味わえない空間で演奏できる場として、自分たちでも様々なお寺ライブを企画するようになり、それはやがてキッサコの活動の軸となりました。

お寺ライブについての思いは、また後で触れていきたいと思いますが、「お寺」から離れようとしていた自分が「お寺」に引き寄せられた大きな理由が、実はもう一つあります。それは、結成して初のシングルをリリースしてからのライブツアーで、九州に行った時のことでした。「ハイムく郷愁く」という、故郷での幼少期の思い出を綴った歌

を歌い終わり、初めて、とお客様が自分たちの歌を聴いて涙を流して下さいました。その方は、60歳くらいの初老の方で、サイン会の時お話させていたただいたのですが、幼少期にドイツに住まれ育ち、その頃、よく世話をしてくれた祖父母のことを、私達の歌「ハイム」を聴いて、久しぶりに思い出したのだそうです。

その時、ふと、あることに気づきました。「今、歌っていることと、僧侶の行いとは、もしかしたら同じようなものなのかもしれない」と。この2つに共通していることは、「思い出す」です。僧侶と檀家さんとして行われるご先祖様の供養も、そう、「思い出す」ということ。



キッサコ●2003年京都で結成。2007年YAMAHA MUSIC COMMUNICATIONSよりメジャーデビュー。グループ名の由来は、「お茶でもどうぞ」の意味を持つ禅語「喫茶去」から。2013年より、音楽活動と平行して、チャリティ活動「故郷を守ろうproject」を発足。2014年11月2日には、京都市円山公園音楽堂でキッサコ単独のチャリティコンサートを開催。お寺ライブを活動の軸とし、全国で精力的に活動中。



男3人組(うち僧侶1名の)アコースティックポークルユニット、「キッサコ」。メンバーは麻生優作(Vo&Piano/写真左)、山元サトシ(Vo&AG写真中)、薬師寺寛邦(Vo&AG)。12月に発売の4年ぶり3枚目のフルアルバム『伝言板』は、すべてメンバーの自宅スタジオにて録音。またMIXは東京となんとシドニーでも行われ、グローバルな作品に。来年末には、関西で史上最大級のワンマンライブも開催予定とか……。これからの活躍に注目である。

例えば、法事は、1、3、7、13……とある決まった周期で行われておりますが、それは、懐かしい人を思い出し、ご先祖様から受け継いだ命の有り難さを忘れないためという意味もこめられていると思います。家々にある、仏壇もまたしかりでございます。「思い出す」ことで、その有り難さを忘れずにいられるのです。

「歌」というものも、結局は自分自身が見て、聴いて、触れて、感じたものを形にする作業です。ので、自分自身も「歌」を歌うことで、それらを思い出します。特に、家族のこと、当時好きだった人のこと、友人のこと、故郷のこと等を題材に歌詞を書くことが多いのですが、それは誰も経験していることだと思いませんので、聴いていただくみなさまにも、それぞれ大切なことを思い出していただけたらという思いで、曲を書くようになっていきました。相対する所にあつたはずの「歌」と「僧侶」が、少しずつ重なっていきまして、私がちょうど30歳の時、修行に行く決意に至りました。

2年間、京都のとある僧堂で生活させていただきましたが、エアコンもない、冷蔵庫もない、昔ながらの生活。朝4時頃に起きて、掃除、作務、托鉢、そして夜遅くまで座禅と、毎日、決まった時間に同じことをやり続ける日々でした。

たった2年で成長できたかどうかはわかりませんが、俗世の暮らしを遮断することで、やはり普通では感じる事ができない感覚を経験することができました。例えば、畑に水まきした時の水しぶきが見たこともないくらいキラキラ見えたり、座禅中、影の長さで、時間がわかるようになったり、靴下がないと、こんなにもかというくらい足がぼろぼろになっていたり、等々。あげていったらさきがありませんが、いかに今ある生活がどれだけ有り難いことかということをもつて体験させていた2年間でした。また、俗世で経験したことを凝縮させている面もありますので、ある意味、人生の確認の作業でもあると感じました。人生で初めて、自身を見つめ直せた貴重な時間でした。

そして昨年、修行から戻り、またこうして歌わせていただいておりますが、実は修行前と修

キッサコライブ、テラコヤノオト。
お寺と仏教が日常になるようなきっかけになれば

行後で、「歌う」ということについて、明らかに変わった所があります。今は、「歌う」ということは、人生の修行のひとつと思っております。例えば、路上ライブ。京都の三条大橋や、大阪駅でもたまに歌うことがあるのですが、街中の人々が行き交う雑踏の中で歌うということは、ある意味、座禅と似ていると思います。昔は、誰も立ち止まってくれない時、誰も聴いてくれない時は、気持ちが折れてしまつて、いい歌になつていかないことがありました。でもそれは、誰かに甘えていたということがわかりました。

聴いている人がいても、たとえ誰も聴いていなくても、同じ気持ちで歌を歌おうと心がけております。つまり、「歌」とは、誰かに向けて歌うのではなく、自分自身に向かって歌つていくものだと捉えるようになりました。それは、奇しくも意味も知らぬまま、11年前にバンド名にした、「喫茶去」という禅語に繋がっていきます。

これは、誰に対しても「お茶をどうぞ」と語つた、趙州和尚のお話ですが、それは、時に慰めに感じ、それは、時に戒めに

感じる。つまりは、自分の心次第ということ。それはまた、「今」を大切に、という思いも込められております。自分にとつての「歌う」とことは、「今の自分」と向き合うということなのです。

また、お寺ライブについても、僧侶になつてから、大きく意義が変わりました。今は、「お寺 de ライブ」というタイトルで、全国のご縁をいただいたご寺院様で、キッサコライブをさせていただいておりますが、まずひとつに、お寺にいろんな世代の方が来てもらえるきっかけになればと考えております。お寺とは、そもそも市役所・公民館の



ような、みんなが集う場所、人と人が繋がる場所であつたはずです。法要の時だけの接点ではなく、お寺が非日常ではなく、日常になるように、提案、発信し続けていくことが本来の形なのではと感じております。

また、ただ音楽を聴いていただけでなく、ひとつでも何か心に持つて帰つていただけるように、「テラコヤノオト」という、仏教用語を紹介するミニ会報を配り、自分の歌詞とリンクさせてお話しさせていただいております。少しでも、いろんな角度から仏教にも触れていただく機会を増やしていければと思います。気がつけば、「歌」と「お寺」がひとつになつておりました。

「好雪片々不落別処（こうせつぺんべんべつしよにおちず）」
美しい雪は、ひとひらひとひら間違つた所には落ちない。という意味の言葉がございます。自分の運命から離れるために進んだ道が、実はあるべき所にちゃんと戻っている。音楽を始めてからの10数年は、

決して遠回りではなく、私にとつて必要な時間であつたのだと思っております。

そんな思いで、音楽活動をしておりました所、この「フリーマガジン」、そして、代表の池口師との有り難いご縁をいただき、初めてお会いした時の思いがけないお話から、フリスタの四国版の発刊、編集に携わらせていただくこととなりました。まだ現在は、情報ページの差し替えでございますが、来年からは、フリスタ四国独自の記事ページや、主催イベントも、企画していきたいと考えております。イベントもお寺でのイベントと、カフェなどの「街角」でのイベントを織り交ぜ、そしてフリスタと連動させて、街からお寺に行き来する機会を増やし、お寺を身近に感じてもらえる、そんな地域にしていきたいと思っております。

このフリーマガジンのタイトルのように、僧侶として、歌い手としてというより、もう、歌う僧侶として、今後も「自分」というフィルターを通して、様々な角度から発信し続けて参ります。

release



『伝言板』
2013年再始動からの歩みを記した渾身の3rdフルアルバム。リード曲「伝言」、「日常」、広島県公認「望郷」や京丹後ふるさとソング「人」等全12曲収録。
12月3日全国発売 / 3,240円 / IROHA records (iTunes等でも配信中)



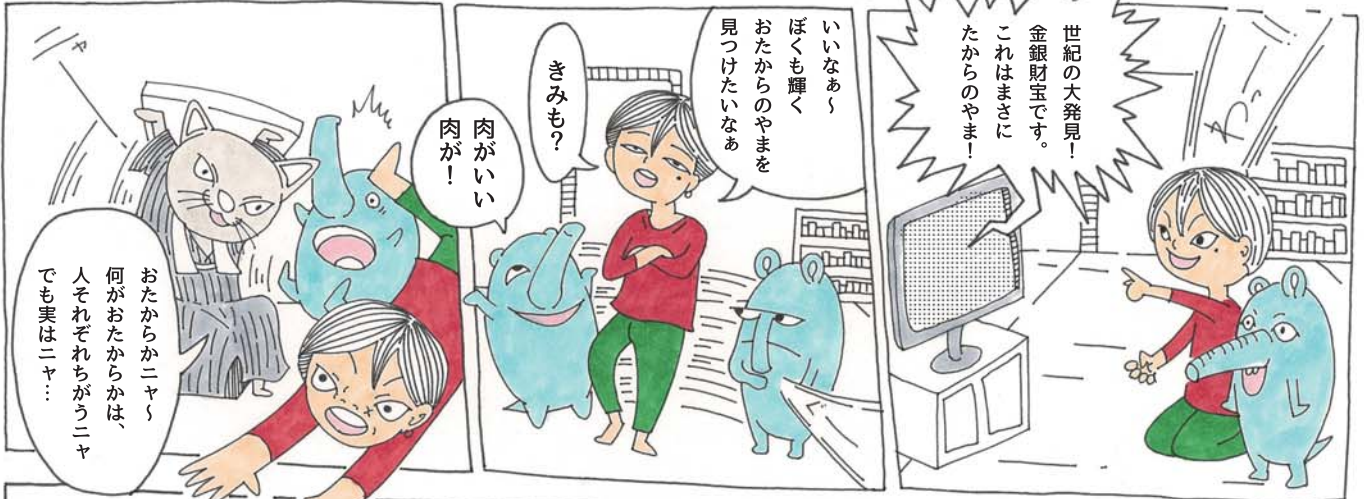
薬師寺寛邦(やくしじ・かんぼう)
1979年生まれ。愛媛県今治市にある臨済宗妙心寺派海禅寺に生まれる。2001年立命館大学経営学部卒業後、ボーカルスクール「DeeCool」の渡辺丈之伸に師事。そこでメンバーと出会い、2003年ボーカルユニット「キッサコ」を結成する。自身の僧侶修行のため、2010年音楽活動休止。2011年より天龍寺僧堂にて修行。それから2年の時を経て、修行より戻り、2013年キッサコ活動再開。2014年、シングル『わたし』をリリースし、ソロ活動も開始する。

連載

お坊さん 目と。

だ...
三三三

“たからのやま”
まんか
みざわ う3崎



世紀の大発見！
金銀財宝です。
これはまさに
たからのやま！

いいなあ、
ほくも輝く
おたからのやまを
見つけたいなあ

きみも？
肉がいい
肉が！

おたからかニヤ、
何がおたからかは、
人それぞれちがうニヤ
でも実はニヤ...



そりゃ...！
たからのやまに入れば
手ぶらでは帰れないよ

ちがう...
たからのやまは
金銀財宝ではなく...
仏法のことだニヤ！



みつあき君の身近には
おたからがあるニヤー！
気づいているかニヤ？

こんな言葉があるニヤ
「誠に、たからの山にいりて
手をむなしくしてかえらんに
ひとしかるべく候う」
※蓮如上人
『夏御文(げのおふみ)』



勉強できる機会に
恵まれてるってのは
貴重なことニヤ
やれるときに頑張る
ニヤ、

は、はい！
精進しますう！



本当にそうかニヤ？
身近にあるからおそろそかに
しているんじや
ニヤいかな？



仏法を勉強できるって
ことはニヤ、
たからのやまにいる
ことおんなじニヤ

え、
そんなのあたりまえの
ことじゃないか！

赤裸々に解く『正信偈』

〈あなたがあなたのままで輝くためのほんの少しの心がけ〉



『あなたがあなたのままで輝くためのほんの少しの心がけ』

英月：著 日経BP社：刊 1,404円(税込)

得体の知れないお坊さんが、偉人の言葉を引用して、ありがたそうな話をする。一般人々にとってこれほどつまらなく、ありがたくない話はない。人が相手の話に共感できるのは、話し手のパーソナリティが見えるときだけだ。

著者は京都市内のお寺に生まれ、35回のお見合いに失敗し、29歳にして家出しアメリカへ。ラジオパーソナリティなどで活躍しつつ懸命に生活をしていたところ、跡取りだった弟夫婦が僧侶の仕事に苦悶を去ったため、お坊さんとして生きて行くことになったという、波乱万丈な半生の持ち主だ。

●本書を抽選で2名の方にプレゼントいたします。ご希望の方は郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、info@freemok.netまで応募ください。※切は12月31日です。

December - January

しりとり
法話バトル

第5回

文・若林唯人

浄土真宗本願寺派僧侶

お題
留守

貪欲(とんよく)と瞋恚(しんに)という煩惱が、私たちにはあるという。都合の良いことを求め続け「足るを知らない」欲の心と、都合の悪いことに腹を立てて相手に変化を迫る怒りの心だ。環境を変えても結局、この煩惱のしわざで、有り難さは当たり前となつて背景に退き、苛立ちと不満は顔を変えて前景に躍り出る。

長旅に出て、しばらく実家を留守にしたことを思い出す。何かと口うるさい家族に「ほつといてくれ!」と、よく愚痴をこぼしていた。旅のはじめは解放された喜びがあったが、旅を続けるうちに、旅先での生活の不便に疲れて、実家の

有り難さを実感してきた。失つて初めて気づくのは、悲しいことだと思ふ。不満に気を取られて、今ある幸せに感謝することがお留守になつていないか。猫と留守番をしながら、やつぱり口うるさい家族の帰りを待ちつつ、深く思いを馳せる。

◎次回のお題は「スイーツ」

●しりとり法話バトルとはウデに覚えのある僧侶たちが、毎号しりとり形式で出されるお題ののっつ法話を作り、きびしい審査によって掲載・非掲載のふるいにかける。フリスタ史上まれにみるサバイバルな企画。ウェブでは、残念ながら掲載に至らなかった法話と、審査員の評価を見ることができると要チェック!

www.freemok.net

TOKYO

1/13(火曜日)

働く人のための坐禅会



仕事帰りにこころと頭の整理をしませんか?
お一人でも気軽にご参加ください。

日時:1月13日(火)20:00~21:30(坐禅60分、お茶会20分)

会場:仏教伝道センタービル7F「緑」の間

講師:阿純章(おか・じゅんしょう)師/天台宗

参加費:500円

定員:30名(男女不問)

申込:事前のお申し込みが必要です。詳しくは仏教伝道協会ウェブサイト、Facebookをご覧ください。

12/18(木曜日)、1/22(木曜日)

仏教聖典を初歩英語で学ぶ会

1回のみ参加でもOK! 簡単な英語を交えながら日本の仏教精神を学ぼう。

日時:12月18日(木)18:30~20:00

1月22日(木)18:30~20:00

会場:仏教伝道センタービル8F「和」の間

講師:ケネス・タナカ師/浄土真宗

参加費:各回500円

定員:40名(英語初心者、中級・上級英語習得者および外国の方も大歓迎)

テキスト:『BDK TV説法DVD』/随時配布

申込:事前のお申し込みが必要です。詳しくは仏教伝道協会ウェブサイト、Facebookをご覧ください。



【主催】



公益財団法人

仏教伝道協会

BUKKYO DENDO KYOKAI


東京都港区芝 4-3-14

<http://www.bdk.or.jp>

Tel: 03-3455-5877

E-mail: bdk@bdk.or.jp

Fax: 03-3798-2758

▶  “公益財団法人仏教伝道協会”URL www.facebook.com/bukkyodendokyokai

TOKYO

12/6(土曜日)

お寺の音楽会「誰そ彼 Vol.29」

お寺の音楽会「誰そ彼(たそがれ)」は、音楽好きの僧侶と僧侶ではない音楽好きたちが開催しているライブイベント。「本堂で音楽を聴いてみよう」という軽い気持ちから始まった、言わば“お坊さんのホームパーティー”です。僧侶のお話や読経もごございます。どうぞお気軽にお参りください。

日時:12月6日(土)17:00 Open/Start(予定)

会場:梅上山 光明寺/東京都港区虎ノ門3-25-1/東京メトロ日比谷線神谷町駅下車徒歩30秒

出演:〈Live〉Lia Mice、The Metaphors

〈法話〉浦上哲也師(俱生山なごみ庵 住職/ファシリテーター)

〈Food〉青江覚峰(ほとけごはん/お寺ごはん/暗間ごはん)

〈Drink〉神谷町オープンテラス

〈選曲〉Busse Posse DJ's

料金:1,000円 with 1ドリンク

申込:予約フォームより <http://urx.nu/dDk4>ウェブサイト <http://www.taso.jp/>Facebook <https://www.facebook.com/jp.tasogare/>Twitter [tasogarecords](https://twitter.com/tasogarecords)ブログ <http://www.komyo.net/teratowa/>

TOKYO

12/5(金曜日)

キッサコ ニューアルバム「伝言板」発売記念
「お寺 de ライブ」in 龍雲寺

3rdアルバム『伝言板』をひっさげの全国ツアー! 一人でも多くの方にキッサコを聴いてほしい、見に来てほしい。そして、ニューアルバムを持って帰ってお家でも聴いてほしい、そういう思いから、無料ライブとさせていただきます。ぜひご家族、ご友人をお誘い合わせの上でお越しください!

日時:12月5日(金)18:00 Open/18:30 Start

(ライブは1時間ほどを予定)

料金:サポートメンバー=北森正樹

場所:龍雲寺本堂/東京都世田谷区野沢3-38-1/東急東横線学芸大学駅下車徒歩15分、東急田園都市線駒沢大学駅東口より徒歩15分

料金:無料

●キッサコ「お寺 de ライブ」募集!!

全国の寺院関係のみなさまへ。御自坊で、キッサコのアコースティックライブを開催しませんか?

問合せ:オフィスキッサコ info@kissaquo.netキッサコオフィシャルサイト <http://www.kissaquo.net>

【 仏 教 体 感 】

KYOTO

12/10(水曜日)

フリースタイルな僧侶たちの講演会

「この時代のものとなれ、仏教！」

弊誌代表の池口龍法と、デザイン担当の梅本龍青が、京都文教大学(キャンパスのど真ん中に釣鐘のある大学!)で講演会を行います!

「街角から始まる仏教もある」「仏教の未来をゼロベースで考え直す」とのかけ声のもと、宗派を超えて僧侶が集まり、フリーペーパーの発行などに取り組む「フリースタイルな僧侶たち」。その代表を務める浄土宗僧侶・池口龍法と、フリーペーパーのデザイン部門担当の梅本龍青が、これまでの活動や展望について語ります。

日時:12月10日(水)13:00~14:30

場所:京都文教大学 光暁館4階 最勝殿/京都府宇治市槇島町足80/近鉄向島駅よりスクールバスで約5分

講師:池口龍法(フリースタイルな僧侶たち代表・浄土宗 龍岸寺)

梅本龍青(フリースタイルな僧侶たちデザイン部門担当・日蓮宗僧侶)

参加費:無料

申込:不要

主催:京都文教大学・短期大学宗教委員会

※マイカーでの来場は不可

TOKYO

1/21(水曜日)

第2回仏教井戸端トーク ご近所トーク編(続)

未来へのアイデアはいつも井戸端から!

「仏教×地域」…「お寺と地域」の活性化に尽力する人にクローズアップし、実例を交えながら未来へのヒントを探るトークイベントです。第2弾となる今回は、盛況だった第1回と同じ出演者を招き「ご近所トーク編」の続編をお届けします。地域とのコミュニケーションや地域にコミットしたいお坊さん、そして興味・関心のある皆様大歓迎。どなたでも参加可能です。井戸端ですからお気軽にどうぞ! 井戸端トーク中に思いついたことがあれば、どんどん発言してください。

日時:1月21日(水)18:30~20:30

場所:龍雲寺/東京都世田谷区野沢3-38-1 <http://ryuun-ji.or.jp/>

出演者:阿純章(天台宗 圓融寺)、細川晋輔(臨済宗 龍雲寺)、

池口龍法(フリースタイルな僧侶たち代表・浄土宗 龍岸寺)

参加費:1,000円

定員:40名程度

申込:フリースタイルな僧侶たちWEB、イベント情報よりお申し込み下さい。 <http://www.freemonk.net/events>

● イベントFacebookページ

<https://www.facebook.com/bukkyoidobata>

KYOTO

1/24(土曜日)

アラサー僧侶とゆるーく話す会

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、気になっていることをお坊さんに質問してみたい方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか? どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

日時:1月24日(土)14:00~16:30

会場:京町家さいりん館室町二条/京都市中京区冷泉町65(室町通二条上ル東側)/京都市営地下鉄烏丸線烏丸御池駅2番出口より徒歩5分

主催:フリースタイルな僧侶たち

会費:1,000円(フリスタ会員800円)

定員:10名

申込:<http://www.freemonk.net/events>

※会場が前回と異なります。ご注意ください。



KYOTO

12/13(土曜日)、1/17(土曜日)

『俱舎論』を8年間かけて読む会

仏教の基礎を学んでいくプロセスを、「桃栗三年柿八年」ということわざをもじって「唯識三年俱舎(くしゃ)八年」という言葉で呼ぶことがあります。「俱舎」とは、インドの学僧世親が遺した著書『阿毘達磨俱舎論(あびだつまくしゃろん)』であり、その中にはこの世の成り立ちや私たちの心のあり方について細かく分析的に述べられています。「仏教辞典」として、初心者も専門家も常に机の上に置いておきたい一冊です。2年間にわたり「経典をナナムから読む会」を実施し、多くの経典を楽しく味わってきましたが、本年からは、「俱舎」をひといて一つひとつの仏教語の奥行きをゆるやかに味わっていきます。どうぞ気軽にお付き合いください。

日時:12月13日(土)17:00~、1月17日(土)19:00~

会場:龍岸寺/京都市下京区塩小路通黒門西入八条坊門町564/JR京都駅下車徒歩10分

会費:1,500円(フリスタ会員1,300円)

定員:20名

申込:<http://www.freemonk.net/events>

※12/13=終了後に近隣のお店にて交流会を行います。

※会費のうち、1,000円は震災復興支援のため寄付いたします。

編集後記

今年の6月、池口師とお会いし、話は盛り上がり、気がつけば、フリスター四国版の発刊、そして編集に携わることとなるという、急展開な今夏でしたが、そこからまた幾つもの素敵なお縁をいただき、現在、地元の僧侶数名のメンバーで、フリスター四国版の編集、企画を進めております。

このように、宗派を越えて、地元の僧侶が集まり協力しながら、仏教について熱く語り、みなさまと楽しく共有してゆける環境ができつつあることを大変嬉しく思うとともに、そのきっかけをいただきました池口師、そしてフリスター編集チームのみなさま方に厚く御礼を申し上げます。誠に有り難うございました。

また今回、急遽巻頭特集も書かせていただくこととなり、キッサコのフリスター表紙撮影もしていただいたのですが、「法衣を着て街中でストリートライプ」というのは、大変新鮮で楽しかったです。法衣にギターを担いだ私を、街の人々が驚いた表情で見ながら通り過ぎていく。そこに、池口師の「僧侶が街に出た」という、このフリスターの原点を垣間みました。

この挑戦的、そして心から楽しんで作り上げているフリスターの雰囲気、私は大好きです。

第32号輪番編集長 薬師寺寛邦

フリースタイルな僧侶たちとは

- 「仏教＝葬式」だとあなたは思っていますか？しかし、経典をひもといってみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった「生きていくための教え」が多く説かれています。
- 人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれの死から目を背けても、充実した人生はありえません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これからの社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。
- 「フリースタイル」という言葉をかかげたのは、仏教の持つ2500年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようとする志のことです。
- 本誌フリーマガジンの発行（年間6回・偶数月1日発行）もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。
- 私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながるこ

ともあるかもしれません。その際には、みなさまのご指摘をお待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これからの時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願いたします。

●志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中

協賛年会費：5,000円(個人)／30,000円(法人)

サポーターズ・クラブのみなさまには、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先：三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口龍法

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください

・Telでのお問い合わせ ☎075-555-5730

・Faxでのお問い合わせ ☎075-777-9579

・E-mailでのお問い合わせ info@freemonk.net

冬用 各宗派衣価格(税込)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ●布袍化織地 18,800円より | ●黒直綴化織地 27,000円より |
| ●改良衣化織地 17,500円より | ●白衣テロンウール 9,950円より |
| ●間衣化織地 17,500円より | ●白衣高級メガーナ京仕立 16,800円より |
| ●黒衣化織地 30,500円より | ●足袋 950円より |

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上ル(西本願寺前店)

☎0120-075-024

今のあなたに効くお寺、あります

recommend



『お寺に行こう！
一坊主が選んだ「寺」の処方箋』

池口龍法／講談社／175頁／1,404円(税込)

弊誌代表、池口が自信を持っておすすめする、旬なお寺の厳選ガイドブック。あなたの心にぴったりのお寺を見つけて、生きる力をもらってみませんか。Amazonや全国書店で好評発売中！

協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいたみなさまに厚く御礼を申し上げます。
以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

あ 安心院(京都府八幡市/浄土宗)
安楽寺(京都府南丹市/浄土宗)
石尾山弘法寺(大阪府和泉市/真言宗)
円光寺(東京都台東区/臨済宗妙心寺派)
延命寺(大阪府堺市堺区/浄土宗)
圓融寺(東京都目黒区/天台宗)

か 宜雲寺(東京都江東区/臨済宗)
吉祥寺(山口県萩市/浄土宗)
九品寺(京都府京都市南区/浄土宗)
教安寺(福岡県福津市/浄土宗)
慶蔵院(三重県伊勢市/浄土宗)
光照院(東京都台東区/浄土宗)
光照寺(大阪府大阪市東淀川区/浄土真宗本願寺派)
光徳寺(福岡県みやま市/浄土真宗本願寺派)
光明院・田中医院(京都府京都市中京区/浄土宗西山禅林寺派)
光明寺(奈良県吉野郡/浄土真宗本願寺派)
五百羅漢寺(東京都目黒区)
金剛寺(京都府京都市東山区/浄土宗)

さ 西明寺(兵庫県尼崎市/浄土宗)
西楽寺(京都府京都市伏見区/浄土宗)
西林寺(大阪府泉南郡/浄土宗)
浄栄寺(滋賀県東近江市/浄土宗)
正覚寺(青森県青森市/浄土宗)
浄元寺(兵庫県尼崎市/浄土真宗本願寺派)
性高院(愛知県名古屋千種区/浄土宗)
正善寺(兵庫県伊丹市/浄土宗)
正法寺(京都府京都市東山区/時宗)
勝楽寺(東京都町田市/浄土宗)
正蓮寺(静岡県伊豆の国市/真宗大谷派)
信覚寺(福岡県朝倉郡/浄土真宗本願寺派)
新善光寺(北海道札幌市中央区/浄土宗)
瑞聖寺(東京都港区)
崇福寺(滋賀県甲賀市/浄土宗)
善願寺(滋賀県甲賀市/浄土宗)
善道寺(北海道札幌市豊平区/浄土宗)

た 大圓寺(東京都目黒区/天台宗)
臺鏡寺(大阪府枚方市/浄土宗)

檀王法林寺(京都府京都市左京区/浄土宗)
潮音寺(東京都大島町/浄土宗)
超覚寺(広島県広島市中区/真宗大谷派)
長壽院(東京都台東区/浄土宗)

は 梅窓院(東京都港区/浄土宗)
法岸寺(静岡県静岡市清水区/浄土宗)
宝皇寺(北海道函館市/真宗大谷派)
寶松院(東京都港区/浄土宗)
宝泉寺(愛知県津島市/浄土宗西山禅林寺派)
法善寺(大阪府大阪市中央区/浄土宗)
法然院(京都府京都市左京区)
法華寺(京都府亀岡市/日蓮宗)
本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区/天台宗)

ま 無量光寺(鳥取県鳥取市/浄土宗)

や 薬師院(大阪府岸和田市/真言宗)
陽岳寺(東京都江東区/臨済宗妙心寺派)

ら 龍雲寺(東京都世田谷区/臨済宗妙心寺派)
龍岸寺(京都府京都市下京区/浄土宗)
緑泉寺(東京都台東区/浄土真宗本願寺派)

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)
遠藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)
学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)
株式会社 アールアンドダブリュー(京都府京都市中京区)
株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)
株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)
株式会社 作島(京都府京都市下京区)
株式会社 寺の友社(京都府宇治市)
京都坊主BAR(京都府京都市中京区)
茶坊えにし(東京都台東区)
寺院コム(京都府京都市左京区)
浜屋株式会社(兵庫県姫路市)
ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所(京都府京都市中京区)

◎協賛は随時受け付けています

広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に
広告を出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店
まで、さまざまな場所に設置しています。設置箇所は現在も拡
大中!!(ウェブサイトで確認できます)
興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

媒体情報

仕様: A4サイズ/12頁/カラー
発行部数: 11,000部
(2014年12月現在)

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





Hamaia
 浜屋は
 関西最大級のお仏壇・お仏具・
 墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は

通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル

0120-1616-94

●受付時間/午前10時~午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ■奈良王寺店/☎(0745)31-2211代 | ■尼崎市役所前店/☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店/☎(0743)83-2211代 | ■尼崎店/☎(06)6413-2211代 |
| ■岸和田店/☎(072)445-2211代 | ■宝塚店/☎(0797)83-4500代 |
| ■堺鳳店/☎(072)261-2211代 | ■西宮店/☎(0798)51-2211代 |
| ■藤井寺店/☎(072)954-2211代 | ■西宮駅前店/☎(0798)34-2280代 |
| ■駒川店/☎(06)6709-2211代 | ■声屋店/☎(0797)35-1194代 |
| ■八尾久宝寺店/☎(072)925-2200代 | ■三田店/☎(079)559-2211代 |
| ■中環東大阪店/☎(06)6783-2211代 | ■神戸本店/☎(078)371-2211代 |
| ■寝屋川本店/☎(072)829-2211代 | ■新長田店/☎(078)621-2211代 |
| ■枚方家具団地店/☎(072)836-2211代 | ■明石店/☎(078)927-2211代 |
| ■高槻店/☎(072)683-2211代 | ■加古川店/☎(079)426-2211代 |
| ■茨木店/☎(072)622-2211代 | ■高砂店/☎(079)443-2211代 |
| ■箕面店/☎(072)726-5522代 | ■姫路本店/☎(079)282-2211代 |
| ■豊中熊野店/☎(06)6853-2220代 | ■福崎本店/☎(0790)22-2211代 |
| ■豊中熊野店/☎(06)6848-2211代 | ■網干店/☎(079)272-2211代 |
| ■川西店/☎(072)759-2201代 | ■龍野店/☎(0791)62-2235代 |
| ■北伊丹店/☎(072)780-5211代 | ■赤穂店/☎(0791)45-2211代 |
| ■伊丹店/☎(072)775-2211代 | ■山崎店/☎(0790)62-5171代 |
| ■東園田店/☎(06)4960-4000代 | ■浜屋漆芸館/☎(079)293-2211代 |

■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

お寺の広報を サポートします!!

リーフレット、教化冊子などの
印刷物制作など気軽にご相談ください

弊誌制作チームが、印刷物の「デザイン」からお寺を魅せるノウハウを提供します。お寺の想いを地域社会にスムーズに伝えようとするとき、洗練された「デザイン」はきっとその助けになります。興味を持たれた方は一度、お問い合わせください。

お問い合わせ先 → フリースタイルな僧侶たち編集部
 Tel : 075-555-5730 / Fax : 075-777-9579
 E-mail : info@freemonk.net

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付:毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内
 TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ.http://tomoiki.jp

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン
VOL.32

2014年12月1日発行

総指揮
池口龍法

編集編集(第32号)
薬師寺寛邦

デザイン
梅本龍青(NILOTPALA)

マンガ
光澤裕顕

ロゴデザイン
しらたきなべお

表紙、P5、P10-P11 撮影:掛川マサ也(イエローストーン)

発行
フリースタイルな僧侶たち編集部
〒600-8119 京都府京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町583-5
kawaramachi place 1002号室
TEL 075-555-5730
FAX 075-777-9579
E-MAIL info@freemonk.net

www.freemonk.net

本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。